市場経済が目指す秩序

河野有理著

「市場経済」とは、市場の自由で均一な競争を通じて、資源を効率的に配分することを指します。市場経済は、消費者の需給を反映し、価格を動かすことによって、資源を効率的に配分します。しかし、市場経済の自由は、不公平や不均等な結果を生む可能性もあります。このため、市場経済を完璧な秩序で目指すためには、公平な競争環境を整備し、不利益を受ける人々の保護を図ることが必要です。

明治維新後、商業が自由化され、市場経済が導入されました。しかし、そのために、市町村の役割が大きく変わった。市町村は、市場経済の発展を促進するために、様々な役割を果たしました。現在、市場経済は、多くの国で導入されていますが、公平な競争環境を整備するための努力は一刻も怠られることなく行われなければなりません。